



通常訪問研修を終えて

立山小学校

研究主題：主体的に追究し、共に学び合う子供の育成

本校では昨年度に引き続き、「子供たちが主体となり、互いに学び合うことを通して、よりよい考えをつくり上げるための手立てはどうあればよいか」について研修を進めました。

通常訪問研修では、その手立てと子供の変容について研修しました。協議、指導助言により明らかになったことや残された課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・既習事項を確認するための掲示物や叙述から読み取ったことを分かりやすく整理できるワークシートによって、自分の考えをもつことができた。さらに、児童が自分の考えをつくり上げる一人学習の場を設定するだけでなく、互いの考えを交流することや教師の適切な助言により、どの子にも学びが成立していた。
- ・視覚教材（写真、イラスト、場面絵等）を使って子供たちの興味関心を高めるとともに、適切なタイミングに提示することで話合いを焦点化することができた。また、教師が、子供同士をつなぐ言葉かけをしたことで、子供たちが生き生きと自分の経験や考えを表現する姿が見られた。
- ・サークル対話やグループで作成したホワイトボードを見せ合いながら交流するなど学習形態を工夫したことで、子供たちにとって話しやすい環境になり、互いの考えに寄り添い合って課題解決を目指すことができた。

<残された課題>

- ・ペアやグループ、全体での話合いを通して、自分の考えを練り直す場をもち、一人一人が学習の成果を確認できるように授業の展開を工夫する。
- ・自分の活動の進捗を把握したり、新しく学んだことや身に付いたことを確かめたりする振り返りの場を設定することで、子供たちが自己調整しながら学び続けるよう工夫する。

立山っ子の学びの成果と課題がよく分かり、研究の方向性が明らかになる研修となりました。



文責 教務主任 岩本 敏和

心に響く言葉

やってみせ 言って聞かせて やらせてみて

ほめてやらねば 人は動かず

山本五十六

